

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念にある言葉の理解を深め、日々の実践がどのように理念に沿って行われているかなど、振り返りの機会を持てるようにする。	管理者をはじめ、職員一人一人が、理念の言葉の意味を理解し、日々の利用者ケアに反映させる。	グループホームの職員会議の中で理念の言葉と意味を見直し、利用者がグループホームの暮らしが楽しいと言っていただけのケアを実践する。また、利用者の日々の暮らしの楽しさを定期的に家族に伝え、安心してもらおう。地域にも楽しんでいる姿を運営推進会議や新聞等により発信していく。	6ヶ月
2	10	運営に関する具体的なテーマを家族に投げかけ、意見・要望等を把握する機会づくりを検討する。	家族から意見要望を言ってもらえる機会を作る。	家族参加している運営推進会議の中で、運営、ケアや業務などに関する毎回違ったテーマを投げかけ、意見・要望があるかを確認する。また参加できない家族には面会時等を通して確認していく。	6ヶ月
3	26	日々のケアと介護計画にあるサービス内容の連動性がより明確になるために、サービス内容の具体化を検討する。	サービス内容を具体化し、日々のケアとの連動性を明確にする。	利用者個々のサービス内容を改めて具体的に書き表し、その一つ一つのサービス内容を日々のケアにどう取り入れていくかの計画を立て実践して連動させる。また、引き続き月末のケアの記録のまとめでもしっかり振り返りを行い、次月に繋げていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。